

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2026 年度

事業計画



わたしが変わる。
未来が変わる。

ガールスカウト日本連盟 2026 年度事業計画

ガールスカウト日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

ガールスカウトは

**少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。**

ガールスカウトは、自らが行動していく運動です。日本では 100 年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

ガールスカウト日本連盟 ビジョン 2032

ガールスカウトは、「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てる。

ビジョン 2032 の達成の妨げとなっている課題は次の 5 つです。

1. ねばならない意識が強い
2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供できていない
3. 組織の運営や情報活用の方法が時代に適していない
4. 運動の仲間の減少が続いている
5. 社会に対してのアピール度が低い

これらの課題を解決するために、次の 2 点を意識して進めています。

- 状況の変化に対して素早く対応する
- 適切に対応を評価し、それに応じて柔軟に計画を修正し次の計画をおこなう

特にこの 3 年間は、課題をもとに 5 つのテーマに取り組みます。

テーマ 1：ねばならない意識からの脱却

- ・団体の意義を明確にし、社会に認知されるようにする

テーマ 2：現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供する

- ・時代に合わせた指導者養成・育成システムの検討

テーマ 3：現代に適した組織の運営や情報活用をおこなう

- ・多様で柔軟な組織運営の方法を共有し、地域を超えて協力し合える仕組みをつくる
- ・日本連盟の財政状況が健全であり、日本連盟所有の施設が有効に活用されるようにする

テーマ 4：運動の仲間の減少を止める

- ・会員がガールスカウト運動の意義を感じ、楽しく活動を継続できるようにする
- ・活動を支える支援者・応援者が増加するよう、会員間のつながり・情報共有を強化する

テーマ 5：社会に対するアピール力を高める

- ・社会に働きかける力が向上する

長期的視点を持ち、2032 年に生まれる子どもたちが 18 歳（2050 年）になるまで、ガールスカウト運動に関わることのできる組織であるために、中期的に見直しをおこない、ビジョンの実現に向けて、取り組みを進めます。

2026 年度事業計画

(1) 公益目的事業について

公1 ガールスカウト運動を普及することにより、社会に役立つ人材を育成し、よりよい社会の実現を目指す事業

公1-1) ガールスカウト教育の計画策定と推進

目的を達成するために、ガールスカウト教育に関わる事項について、世界連盟、世界連盟に加盟する各国（及び地域）連盟、都道府県連盟、他団体との協力により、その計画を策定するための会議を実施する。また、策定された計画を全国で推進するために、「モデルとなる事業」「会員の力を結集して社会貢献する事業」「世界レベルでの活動を推進するための会議及び事業」を実施する。

(事業内容)

① 計画策定のための会議

事業名	備考
理事連絡会	年6回開催 (4月、7月、10月、12月、2027年1月、2027年2月) 会場：オンラインまたはガールスカウト会館
有識者の会	評議員会（評議員による直接事業評価） 期日：12月（予定） 会場：ガールスカウト会館・オンライン
	顧問会 期日：未定 会場：ガールスカウト会館またはオンライン
	フレンズ オブ ザ ボード 定期交流会 期日：未定 会場：ガールスカウト会館またはオンライン
連盟長会議	期日：6月28日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
連盟運営者会議	期日：11月15日（日） *11月14日（土）自由参加プログラム 会場：オンライン
戦略検討委員会	これからのガールスカウト運動を考える委員会（年間）
	これからのガールスカウト運動を考える委員会<組織検討チーム>（年間）

② モデルとなる事業

事業名	備考
STEAM 教育への取り組み	STEAM バッジプログラムの普及（年間） STEAM プログラムの講師派遣（年間）
サポータープールの促進	教育プログラム展開のためのサポート
B-P アワード	募集締切：5月31日（日） 表彰式：10月11日（日） ※ガールズメッセで実施
年長部門地区事業	クリエイティブチャレンジプログラムの実施 場所：全国7地区
レンジャー全国キャンプ	期日：8月7日（金）～8月11日（火・祝） 会場：戸隠ガールスカウトセンター 対象：高校生年代
戸隠ガールスカウトセンターを活用した教育の実践	期日：4月25日（土）～11月3日（火・祝） 会場：戸隠ガールスカウトセンター
	夏期利用事前研修 期日：5月30日（土） 会場：オンライン

③ 事業運営のための委員会

教育・指導者委員会	年間
-----------	----

④ 会員の力を結集して社会貢献する事業

事業名	備考
SDGs への取り組み	ガールスカウト活動の全活動を SDGs と連動させて実施 SDGs バッジ取り組みの促進
SDG5*の促進	GE（ジェンダー平等）バッジへの取り組み促進
	Free Being Me（FBM*）第3段階の取り組み促進 一般を対象としたプログラムの実施（ダヴとの協働）
防災・減災教育	防災マイスターアクティビティ集を活用したプログラムの促進 一般を対象としたプログラムの実施 防災科学技術研究所との協働
環境教育	環境問題について考え、持続可能な社会の構築につながるプログラムの実施

コミュニティアクション チャレンジ 100 (CAC100) アワード	募集期間：2025年11月1日（土）～2026年3月31日（火） 最終審査：7月（未定） 表彰式：10月11日（日） ※ガールズメッセで実施
会員継続の支援	年間（大学進学のための推薦書等発行含む）

SDG5*：SDGs 目標 5「ジェンダーの平等を実現しよう」に向けて、(GE*バッジ、FBM 大好きなわたしバッジ、FBM 行動編バッジ)の取り組み促進をおこなう。

※GE = Gender Equality (ジェンダー平等)

FBM*：ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とパーソナルケアブランドのダヴが協働で作成したプログラム。自己肯定感を高めるとともに、社会の問題に目を向け、変化をもたらすための行動をとれるようになることを目指す。

⑤ 世界レベルでの活動を推進するための会議及び事業

事業名	備考
国際理解支援事業	海外研修渡航費補助 海外連盟プログラム紹介
海外研修本部派遣	世界連盟プログラム(ヘレン・ストロー セミナー、ジュリエット・ロー セミナー等)へ成人派遣 期日：未定(実施未定) 会場：未定
第39回世界会議派遣(代表・オブザーバー)	期日：6月15日(月)～6月20日(土) 開催国：カンボジア
グローバルフォーラム	期日：10月28日(水)～11月1日(日) 会場：ワールドセンター(クサフィリ：ガーナ)
ワールドシンキングデイ	2027年2月22日(月) 47都道府県にて実施 テーマ：仲間(仮)

公1-2) ガールスカウト教育の推進のための指導者養成事業

公1-1)で策定された教育計画の実施に当たって、少女と若い女性の活動を支援するための指導者や、さらにこの運動を発展させるための成人の活動を支援するための指導者を養成する事業を実施する。

(事業内容)

① ガールスカウト教育を実施する指導者の養成事業

事業名	備考
リーダー養成講習	全国47都道府県にて開催
指導者研修	全国47都道府県にて開催

理事研修	第1回 期日：6月27日（土） 会場：ガールスカウト会館 第2回 期日：9月12日（土）～9月13日（日） 会場：ガールスカウト会館
トレーナー対象のトレーニング	トレーナーセミナー 対面 期日：11月7日（土）～11月8日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター トレーナーセミナー オンライン （複数回予定）
	トレーナーの単位 I（オンライン・eラーニング）
トレーナー養成・育成勉強会	期日：8月29日（土） 会場：オンライン
トレーナーへの支援	トレーナー用ウェブページの運営 トレーナー情報共有プラットフォーム Slack の運営
リーダーへの支援	教材開発、ホームページの充実
FBM キャラバン	随時
新任連盟長研修	期日：6月27日（土） 会場：ガールスカウト会館
役職別情報交換会	期日：9月26日（土） 会場：オンライン
連盟長連絡会	期日：2027年2月23日（火・祝） 会場：オンライン
都道府県連盟支援	随時（団支援、県連盟運営、オンライン活用支援、理事等派遣）
表彰	功労章、永続奉仕章、団永続章、ガールスカウト活動賞、感謝状、会員数増加団、新規入会者多数団 等

① 指導者の認定事業

事業名	備考
ガールスカウトトレーナー認定講習会・審査会	期日：2027年1月10日（日）～1月11日（月・祝） 会場：ガールスカウト会館
プログラムトレーナー認定審査会	期日：2027年1月9日（土） 会場：オンライン

② 指導者派遣事業

指導者の派遣	随時実施
--------	------

③ 専門委員会

成人トレーニング委員会	年間
指導者養成育成見直しチーム	年間

公 1-3) ガールスカウト教育に必要な資料・教材等の開発及び頒布

(事業内容)

公 1-1) で策定された教育計画を推進する目的に必要な資料及び教材等の開発・制作及び頒布をおこなう。

開発に当たっては、教育計画策定に当たる委員会や専門家がかかわる。

頒布に当たっては、ホームページでの公開などにより、誰もが入手できる方法を確保している。

制作

『Girl Scouts' News』年 3 回 (全会員対象/データ配信) ガールスカウト教育に必要な資料・教材等の開発
--

頒布品

『バッジブック』(各部門)、各部門バッジ各種、『楽しい野外』『楽しいソング』『楽しい料理』『元気の種本 (春夏)』『ガールスカウト活動の基礎』『指導者養成講習資料』『指導者の手引き』『挑戦し続ける運動』『防災マイスターアクティビティ集』『お金プログラム・指導者用』『Be The Change - わたしが変わる。未来が変わる。14 歳以上のガールスカウトのためのコミュニティ・アクション・プログラム ガイドブック』『アドボカシー活動を始めるためのガイドブック』『GE リーダースガイド』他

公 1-4) 社会連携事業

ガールスカウト運動を普及し、よりよい社会の実現を目指すために、社会と連携した事業の実施及び社会への提言をする。

(事業内容)

① 事業

事業名	備考
ジェンダー平等を実現するための社会への働きかけ	・ジェンダー平等のための教育プログラムの普及 ・ジェンダーに関する意識調査の実施・報告書の製作・普及
ガールスカウトの日	期日：5月22日(金)

全国一斉イベント	会場：47 都道府県で実施
ガールズメッセ 2026 (国際ガールズ・デーイベント)	期日：10 月 11 日 (日) 会場：未定
女性に対する暴力防止キャンペーン	期日：11 月 パープルライトアップを実施
ワールドシンキングデイ	期日：2027 年 2 月 22 日 (月)
国際女性デー	期日：2027 年 3 月 8 日 (月)
KIZUNA Day	期日：2027 年 3 月 11 日 (木)
体験活動の促進	年間を通して 47 都道府県で実施 入会促進事業 体験集会促進月間 [5 月・10 月] オンライン体験集会 期日：8 月 30 日 (日) 2027 年 1 月 31 日 (日) 入会応援キャンペーン 期日：2024 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日 コドモブースターの活用 成人会員の募集
会費助成	児童養護施設在籍の少女会員および被災会員への支援 入会応援キャンペーン対象者への助成
国内交流事業	年間

広報イベントおよび広報キャンペーンの展開	
ガールスカウトの PR	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等の運営、SNS の活用、ガールスカウト理解促進のための動画の作成、広報資料の作成と配布 ・ガールスカウト認知度向上強化月間 [5 月・10 月] 	

ガールスカウト推進議員連盟	年間
他団体との連携	年間

② 専門委員会

コミュニケーション戦略委員会	年間
ジェンダー調査チーム	年間

公 1-5) ガールスカウト教育に必要な施設の運営

(事業内容)

東京都渋谷区にガールスカウト会館、長野県長野市に戸隠ガールスカウトセンターを保有し、公 1-1) により策定したガールスカウトの教育計画を具体的に実施するために不可欠な施設として運営している。

ガールスカウト会館は、東京都心にあり、全国で活動する会員が一堂に会し会議や活動をする場としてのみならず、ガールスカウトの歴史的展示物や、ガールスカウト活動・教育に関する資料の展示をおこなって一般にも広く開放している。また、当連盟の事務局がおかれ、当連盟全体の業務を執行している。

なお、2019 年度 10 月から、公 1) に掲げる事業の改善及び推進に必要な財源を確保し、公益事業としてのガールスカウト教育をより充実させるために、収 2) として同施設の一部を賃貸している。

戸隠ガールスカウトセンターは、妙高戸隠連山国立公園内に位置し、昭和 35 年に少女と女性が安全に安心して野外活動（キャンプ）をすることを目的に開設された。以来、当連盟が行う少女のための野外活動事業や指導者養成事業のほか、都道府県連盟や団のキャンプに利用されている。

両施設とも、本連盟の目的に適う団体に対し本連盟の事業に支障のない範囲で開放している。

① 事業

ガールスカウト会館の運営（年間）
戸隠ガールスカウトセンターの運営
・春期利用： 4 月 25 日（土）～7 月 10 日（金）
・夏期利用： 7 月 18 日（土）～8 月 31 日（月）
・秋期利用： 9 月 1 日（火）～11 月 3 日（火・祝）

② 専門委員会

戸隠ガールスカウトセンター 運営検討チーム	年間
--------------------------	----

(2) 収益事業について

収 1 ガールスカウト関連事業

(事業内容)

ガールスカウト教育をおこなうために、活動に必要なグッズの販売を行う。
取り扱う品物は、以下のとおり

取り扱い品	備考
制服及びその付属品（ピン類、県別・団別章）	活動に参加する少女の安全の確保と、仲間意識の高揚と目的の共有、社会への存在アピールのため制服の頒布をおこなう
キャンプ用品及びテント	ガールスカウト教育の中心的活動の一つである野外での活動を安全にかつ教育効果の高いものとするための物品の頒布をおこなう
シンボルマーク入り製品	シンボルを利用した教育方法を行っているために、シンボルマーク等を付した物品の頒布をおこなう

収 2 不動産賃貸事業

(事業内容)

ガールスカウト運動を充実させるために、施設の賃貸事業をおこなう。

賃貸物件	ガールスカウト会館 1 階部分
借主	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
使用目的	保育施設およびその事務所

(3) ガールスカウト日本連盟運営のための事業について

① 事業等

事業名	備考
理事会	年5回開催（5月、7月、10月、2027年1月、2027年2月） 会場：ガールスカウト会館 *オンラインの場合あり
監査	前年度決算の監査 期日：5月16日（土） 会場：ガールスカウト会館
	中間監査 期日：未定 会場：ガールスカウト会館
第98回定時総会	期日：6月6日（土） 会場：オンライン
会員登録	年間
会員データベースの活用	年間
助成金等の獲得	年間
寄付金の拡大	年間
寄付促進キャンペーンの実施	6月8日「戸隠を想う日」寄付促進他
賛助会員トレフォイルの集い	期日：未定 会場：未定
事務局の強化	年間

② 専門委員会

ファンドレイザーグループ	年間
予算委員会	期日：11月予定 会場：ガールスカウト会館

ガールスカウト日本連盟制定の日

名称	期日
ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年（昭和22年）の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の会場を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。先人の想いをつなげ、戸隠ガールスカウトセンター維持のために、6月を戸隠募金推進月間とします。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 ビジョン (COMPASS2032) :

「すべての少女が力強く生きる（成長する・発展する）ことができる平等な社会」

2032年までに、すべてのそしてあらゆる少女が導く（to lead）自信を持ち、よりよい世界を一緒につくるために力を付けることができる少女主体の運動となる。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命 :

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ・ベーデン-ポウエル

ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)